

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援CONOASU		
○保護者評価実施期間	R8年 12月26日		～ R8年 1月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	R8年 2月 2日		～ R年 2月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との連絡や相談対応を大切に、ご家族と連携した支援に努めている。	連絡帳やLINE等を活用し、日々の様子や支援内容を丁寧にお伝えするとともに、保護者様の不安や困りごとに対応している。	保護者様のニーズやご意見を踏まえながら、より丁寧な情報共有や相談支援につなげていく。
2	子ども一人ひとりの状況や特性に応じた支援を行うよう努めている。	日々の関わりの中で子どもの様子を把握し、それぞれの発達段階や、気持ちに応じた支援や関わりを意識して行っている。	職員間での共有方法を工夫しながら、より統一した支援や質の向上につなげていく。
3	子どもが安心して過ごせるよう、環境設定や関わり方の工夫に努めている。	活動の流れや環境を分かりやすくする事を意識し、子どもが見通しをもって過ごせるよう配慮している。	クールダウンスペースの確保など、環境面の整備について検討しながら、より安定した支援につなげていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会や保護者会等の開催ができていない。	保護者様の就労状況や生活スタイルの多様化により、日程調整が難しい状況がある。	保護者様のニーズを把握しながら無理のない形で交流の機会について、今後検討していく。
2	地域との交流や地域の子どもの活動の機会が少ない。	安全面の配慮や個別支援の必要性から外部との交流機会の確保が難しい状況がある。	子どもの状況や安全面に配慮しながら地域との関わりの方について段階的に検討していく。
3	勤務時間が異なる職員もいる為、支援内容の振り返りや検討の時間確保が難しい場合がある。	業務時間でのミーティング時間が限られており、十分な検討の時間確保が難しい状況がある。	情報共有の方法を工夫し、短時間でも効果的な共有・振り返りができる体制づくりを行っていく。